

## 阿蘇大橋地区復旧技術検討会(第4回)

## ＜議事要旨＞

開催日：平成 28 年 12 月 6 日

- ラウンディングについては、作業が完了したことを確認。
- 今回の検討会で提示された有人施工着手に向けての作業環境確保に関する対策は了承。
- 「有人施工時の作業中止基準の設定」の斜面監視員による目視監視については、作業中の落石の位置と移動距離のデータを記録することが重要。それらの記録を確認しながら想定される現象や工事再開基準を定めるとよい。また、作業員への周知徹底のため定期的な避難訓練が重要。
- 今後の作業についても、常に「地震」の発生を頭に入れ、必要な安全管理のもと有人作業を進めること。
- ラウンディング後も放置すると侵食が進み不安定になる。早期復旧が重要。
- 熊本側のガリー侵食部や頭部の工事用道路等は、雨水による侵食対策(水処理)が必要。

以上